

再編等に関する実施計画（案）に対する意見と市の考え方

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
1	中央図書館 東部図書館エル 中央図書館増戸分室 五日市郷土館等 五日市図書館等	<p>中央図書館等の規模縮小とあり、利便性向上とあるが矛盾した言葉に聞こえる。利用する人が通いやすいこと、学習する人がやりやすいことなどが規模縮小でどのようになるのかが一番懸念されると思うので具体的に示して欲しい。</p> <p>五日市郷土館などについても施設再編等が進められるとあるが文化財等が適切に展示・保全管理するとあるが「できると良いと考える」というだけではどうなっていくのか不明。五日市憲法のような歴史的なものが非常に重要なものと考えてる中で、具体的にはどのような扱いがなされるのかしめして欲しい。</p> <p>同時に五日市図書館を含め規模縮小・集約化が地域の利用者の利便性にとって具体的なイメージにとっては、現状より小規模になり内容等での利便性が劣ってしまうのではないかと疑問も感じる。説明を広げて欲しい。</p>	<p>中央図書館等の再編等の方向性である「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。また、多機能化は、「多機能化を検討することが妥当」であることを示しています。これらを踏まえ、中央図書館等は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小するとともに、施設利用者のニーズの高い新たなサービスの提供を行う方針（規模縮小・多機能化）を定めることとしています。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p> <p>五日市郷土館の再編等に関する実施計画（案）における「できると良いと考える」との表記は、将来の事業のあり方（方向性）の考え方を示したものです。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、今後検討していきますが、二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転、集約化する場合には、文化財を適切に展示・保存・管理するための設備を備える考えです。</p> <p>五日市図書館の再編等の方向性である「移転・規模縮小・複合化・多機能化」のうち、「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。また、「複合化」は、「スペースの活用や利用効率の向上が課題であり、機能の複合化を検討することが妥当」であること、「多機能化」は、「多機能化を検討することが妥当」であることを示しています。これらを踏まえ、五日市図書館等は、現五日市地域交流センター等の敷地に「移転」し、施設の需要傾向に応じて規模縮小するとともに、施設利用者のニーズの高い、他の公共施設のサービスや新たなサービスの提供を行う方針（移転・規模縮小・複合化・多機能化）を定めることとしています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>
2	中央図書館 東部図書館エル 中央図書館増戸分室 五日市郷土館等 五日市図書館等	<p>図書館は、憲法で保障する「知る権利」を保障する唯一の公的機関です。本来なら全ての人にとって身近に図書館が利用出来る環境が望ましいのですが、あきる野市においては、住居が集中している4箇所にしか図書館はありません。本来なら山間部や小集落に住む方々への図書館サービスも必要です。移動図書館(ブックモバイル)にも軽自動車タイプで、それらを活用している自治体も増えてきています。そのような中、あきる野市の今の図書館は、街の中心地に4箇所(小規模の増戸分館を含め)の図書館があるのみで運営されている状態です。今の状態は、市民への全体サービスという面から見ると基本中の基本の施設状態と言えるのではないかと思います。</p> <p>施設の見直しにおいては、増戸分館をもっと充実した施設にするべきだろうと思われます。それによって、少なくとも街中の図書館機能は充実されますので、街中の図書館サービスの格差は解消されると思います。なお、山間部や小集落に関しては、予算上のこともありますので、近年の著しい科学技術を活用し、電子書籍の積極的な導入や来館が困難な市民への宅配サービスの実施、ネットを使ったチャットによる積極的なレファレンス質問の受付など、新技術を活用した対応をすることが望ましいだろうと思われます。従って、そうしたことができる新施設を想定し、作り直しをすることが必要だろうと思われます。</p> <p>以上のことから、街中の4館は基本中の基本と考えられますので、統廃合することなく、さらに充実させる方向で進めて頂きたいと思われます。</p> <p>また、施設の見直しになると、その施設の管理体制がセットで持ち上がって参ります。図書館運営においても市の直営か指定管理者運営かという問題が必ず出て参ります。図書館の指定管理制度では、5年毎の見直し(入札があり、業者が変わることによって継続的な良いレベルの図書館サービスが維持できない)があること、働いている司書の方の殆どが非常勤であることから司書としての経験不足者が多い、非常勤であるが故に経済的困窮があることから人の入れ替えが激しいことにより低水準のサービスになりがち、こうした要因から、指定管理者導入によって、市民が低レベルの図書館サービスしか受けることができなくなるなどの問題(1部には成功例が見られますが、全体の傾向性としては……)が多く発生しています。こうした事情から、できるかぎり直営を希望したいと思います。</p> <p>五日市図書館は伝統がある図書館ということもあり、貴重な蔵書を有していますが、書庫は満杯状態です。そうした意味で、縮小するのではなく、より充実した施設に変わることを切望します。</p> <p>なお、図書館の近くに郷土館があり、この郷土館には石器時代かの貴重な化石等が豊富に管理展示されているなど、日本列島の成り立ちの1部を化石や遺跡によって知ることができるなど、貴重な資料が豊富にあり、PRの仕方によっては、観光資源になるものに恵まれています。</p> <p>今の郷土館は、五日市駅からも離れ、分かりづらいところにあることから、誠にもったいない環境にあります。従って、この見直しにあたり、図書館と郷土館を合わせた複合館を建設されることを切望します。できれば、駅から近く大通りの立地に施設ができれば2館の相乗効果が生まれる可能性が高くなるものと思われます。</p> <p>駅に近く五日市街道沿いに複合施設ができれば、観光地「瀬音の湯」との流れも出てきますので、郷土館にも観光客を引き込む可能性が高まるのではないかと思います。</p>	<p>この度の中央図書館等の再編等に関する実施計画（案）では、図書館は4館体制を維持することとしています。</p> <p>機能の充実や運営体制に関するご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p> <p>五日市図書館の再編等の方向性である「移転・規模縮小・複合化・多機能化」のうち、「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。また、「複合化」は、「スペースの活用や利用効率の向上が課題であり、機能の複合化を検討することが妥当」であること、「多機能化」は、「多機能化を検討することが妥当」であることを示しています。これらを踏まえ、五日市図書館等は、現五日市地域交流センター等の敷地に「移転」し、施設の需要傾向に応じて規模縮小するとともに、施設利用者のニーズの高い、他の公共施設のサービスや新たなサービスの提供を行う方針（移転・規模縮小・複合化・多機能化）を定めることとしています。</p> <p>また、この度の再編等に関する実施計画（案）においては、二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転、集約化し、この施設と五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能（子育てひろば）を1拠点に集約化・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。市としては、これらの取組により、五日市図書館等の利便性の向上も期待できるものと考えています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
3	ふるさと工房五日市	<p>ふるさと工房について意見</p> <p>陶芸側はほぼ使われておらず学校体験時に使われるのみ。 例えばこの施設を閉めて、軍道に近い小宮小などに軍道紙の歴史を展示する場所を作り予約で紙漉きができる体験コーナーも作る。学校体験もここに来てもらう。 体験用の楮は軍道の地元の楮を地元の人達に育ててもらいトロロアオイの畑も農家さんに委託し市で買い取る。 ハガキ漉きや軍道紙を使った工作などはエキシビジョン的に出張で行う。（五日市駅前の新しい施設で休日のみ出店や希望する学校や保育園、福祉施設などへ赴く、など） あきる野市内に楮畑を持ち原料からあきる野産で作れる。今よりずっと運営費がかからない広さのアトリエ施設を作り、技術が必要な大きな和紙をすいてもらえる環境を作る。そこで、紙漉きを伝承してもらい全国から発注をかけられるようにする。今あるふるさと工房の道具の扱い方はすぐ習って体得できるものではない。とてもデリケートな道具であり、今は全国の作り手も非常に少なく修理もままならない。 アートレジデンスは戸倉からあまり広く知られていない感があり、もっと市民全体に恩恵が広がらないと税金を使う意味が無いのでは。軍道紙を使って作品を作ってもらうなど。 軍道紙を使った全国から集めた作品展など開催したり、もっと匠と絡めて商品のラベル、染め、竹ランプなど軍道紙を使って全国にあきる野市の名前を広めるツールにする。 今後、伝承者を入れるのであれば大学で紙漉きを専攻しているような本当に紙が好きな人を地域協力隊のようなカタチで入れて行き、万が一あきる野市を離れる場合でも必ず引き継ぎしてからという契約を結び、軍道紙が継続ができるようにする（物販やカフェを併設し市とは委託関係にする） 軍道紙を知る地元の人達も最後の世代となり、最後のチャンスだと思われる。</p>	<p>ふるさと工房五日市の運営に関するご意見につきましては、ふるさと工房五日市の運営に当たり、参考とさせていただきます。</p> <p>ふるさと工房五日市を閉鎖し、小宮ふるさと自然体験学校に軍道紙の歴史を展示する場所等を設置することにつきまして、現段階の考え方としては、ふるさと工房五日市において、軍道紙の紙漉き体験などを継続しながら、現在の施設を有効活用する方針を定めることとしています。</p>
4	全体	<p>再編に関して！ 公開討論を求める！ 拙速に事を進めるな！</p>	<p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>
5	五日市図書館 全体	<p>10/1公報に載ってたった”2週間で意見を出してほしい資料は各自閲覧場所にて閲覧してください”との記事に対し、資料をコピーしたものを知人に見せてもらい再編・統合案の対象施設が34件と多いことにびっくりしました。 （今後も対象施設がありますが）又、意見を書くことは大仕事です 2025年5月14日には実施経過の初版公開日ということですが、市民は再編統合（案）をよくわかっていないのではないのでしょうか。</p> <p>今回表1の意見募集対象施設の欄は字が小さく読みづらい（他のお知らせと比べても） 対象施設全般に対して再編・統合とあっても意見が述べにくい。 閲覧しなくても（できない事情があったりしても）市が、この（案）を広く市民に伝えること、機会を図ることがあれば、説明会を開く等実施すれば市民は自分事として考えます。討論を含めぜひ説明会を開いてくださるよう要望します。</p> <p>市の担当の方達はこの実施計画を何ヶ月何年もかかって方針の策定を練ってらっしゃったわけですが大多数の市民に施設の再編等はそんなに重大には思われていませんが市民の税金をかけて建てられた施設が統廃合されることは重大な問題となります。</p> <p>市では公共施設の市民一人当たりの延べ床面積が多いことに対しては面積を比較することは、必要無いと思います。むしろ良いことですし、又少子高齢化等により施設利用者の減少が見込まれるとのことは必ずしもそうならず移住・定住を推進する市政としては文化都市から撤退することを意味します。市民に対するサービス低下です。</p> <p>一例として 五日市図書館の存続を切望します！！折々のメンテナンスを施し、（耐震工事は完了しており）図書館として、今の場所に残してください。他施設に移設して図書室などに規模を変えず、歴史あるすばらしい取り組みを重ねてきた図書館です。五日市図書館として今までと同様に教養・学習の場・交流の施設を必ず残してほしいと思います。</p>	<p>この度の再編等に関する実施計画（案）は、各施設の再編等の方向性（考え方）を示すものであり、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。また、この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、14日間としました。</p> <p>公共施設の再編など、公共施設等の総合管理計画の取組については、市としましても、広くお知らせできるよう、動画の作成、公共施設へのポスター掲示などに取り組んできました。今後もさらに工夫をしていきたいと考えています。</p> <p>公共施設の再編等の取組につきましては、この度の再編等に関する実施計画（案）に付随する資料に記載しておりますとおり、「旧市町で保有していた施設の機能重複などから、公共施設の市民1人当たりの延べ床面積が多くなっている。」「人口減少、少子高齢化、西部で将来の減少率が大きいなどの人口動態から、施設利用者の減少が見込まれる。」「公共施設の更新費用の不足が見込まれる。」ことから、将来にわたって適切な公共サービスを提供するために、必要な取組であると考えています。</p> <p>五日市図書館については、建築から約50年が経過しており、いずれかの段階で建替えが必要となります。また、現在の五日市図書館の敷地面積と建築面積を考慮すると、現地での建替えを行うには、長期間休館する、仮設図書館を整備し一時的に移転するなどの措置が必要であり、現位置での建替えは難しいと考えています。このような状況のほか、公共施設の再編等の取組が必要であることを考慮し、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。市では、五日市郷土館、五日市図書館等の様々な機能を有する公共施設を集約化・複合化・多機能化することにより、幅広い利用が可能となり、各施設の魅力や機能をより高めることができると考えています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
6	スポーツ施設	屋内スポーツ施設（体育館）の集約化について 小生は、ファインプラザで卓球（ピンポン）を月に2回程度行ってきました、ファインプラザは駅に近く、高齢者で車がなくても気軽に通える施設です あきる野市は旧秋川と五日市が合併し面積も広いため近くに気軽に通える運動施設が必要です、高齢者の健康維持のためにも、一か所に集約するのではなく、秋川地区と五日市地区に体育施設を残すように要望します。	屋内のスポーツ施設につきましては、秋川体育館の再編等に関する実施計画を策定し、1拠点に集約化する方向性を定めています。集約化する位置は、「現秋川体育館敷地」「現五日市ファインプラザ敷地」「新事業用地」を想定し、今後検討していきます。 再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。
7	学校施設	五日市在住なので、五日市の施設に限定しての意見です。 案1) 少子化で五日市小学校と五日市中学校の統合を今後余儀なくされるのであれば、空いた側の校舎を活用して公共施設を含めた複合施設へ。もしくは旧小宮小学校か旧戸倉小学校を活用。 参考施設) ①池尻home work village ②下北沢のまちづくり、複合施設、緑化の取り組み こちらを参考資料として推薦します。 https://homeworkvillage.com/about/ https://shimokita-engei.jp/ https://bonus-track.net/ https://www.shimokitazawa.info/news/2022/10/nanseiplus-all/ ①は旧池尻中学校を活用してつくられた人気の複合施設です。 校舎の1階にはお店が集い、2階と3階には働く場や学ぶ場などがあります。ブックラウンジやギャラリー、体育館や広場もあり、たくさんのイベントを開催しています。 複合施設なので、お店や事務所、イベントスペースの賃貸料が入ります。 元々学校にあった机、棚、ドア、さまざまなものをリノベしているので大きな改修工事の必要もない。最大のポイントはデザイン性が高くさまざまな空間が混在していることです。 学校のリノベーションはしろやまテラスを始め全国あちこちにありますが、こちらのhomeworkvillageはデザイン性と空間づくりがとても素晴らしい。（ぜひ視察してほしいです。） 若者やファッションに感度の高い人達、子育て世代中心に人気があります。	学校施設の活用に関する意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
8	五日市図書館 二宮考古館 五日市郷土館 五日市保健センター 小宮ふるさと自然体験学校 中央図書館増戸分室	<p>資料4について</p> <ul style="list-style-type: none">・二宮考古館、五日市郷土館、五日市センター、保健相談センター、五日市会館は、当座は既存の建物を活用し、最終的には、地域交流センター、五日市会館、保健センターを解体して新たに立て直し、施設、機能を集約する方向で検討してください。・その際、地域住民、専門家の意見、希望、アイディア等が盛り込まれるような形で進めてください。（市民、専門家、行政等から構成されるワークショップ、などを開催）・施設の設置を考慮する際には社会福祉協議会の情報を参考にして下さい。 社協はR8年度～R12年度の地域福祉計画策定にあたり委員会、ワークショップを開催しています。 ワークショップではあきる野市を「西部地域」「中部地域」「東部地域」に分けて市民から状況を収集しています。各地域で共通する課題、地域ごとに異なる課題のデータがありますので是非参考にして下さい。 また、取りまとめに際しては、所轄課と企画政策課に加え関係市民団体からの情報も聞き取って下さい。（高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、関係者等） <p>五日市図書館について</p> <ul style="list-style-type: none">・規模の縮小は望みません。・図書館司書を置いてください。 <p>二宮考古館・郷土資料館について</p> <ul style="list-style-type: none">・それぞれあきる野市の歴史、自然史を扱っていると思いますので別建てで考えるのではなく集約し一本化してください。更に戸倉しろやまテラス内3階のジオ展示も集約してください。<ul style="list-style-type: none">・「学芸員」の配置を要望します。 <p>五日市保健センターについて</p> <ul style="list-style-type: none">・放課後児童健全育成事業「五日市学童クラブ」は五日市小学校内に移転・「子育てひろばいつかいち」は資料4の構想敷地内に組み入れてください。 <p>小宮ふるさと自然体験学校</p> <ul style="list-style-type: none">・機能を秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」に集約を検討して下さい。 <p>増戸分室について</p> <ul style="list-style-type: none">・規模の縮小は望みません。・学童・児童館が移転した際には学童・児童館のスペースで図書館の機能及び書籍の充実を望みます。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・考え方としてあきる野市を東西地域（旧秋川市、旧五日市町）に分け西地域では東地域にある施設及び機能をコンパクトにまとめた構想。・イメージとして 旧秋川市?文化ゾーン 図書館、キララホール、公民館 旧五日市町?歴史ゾーン 資料館・ふるさと工房五日市等・市内循環バスの増便を希望	<p>市の考え方</p> <ul style="list-style-type: none">・資料4について<ul style="list-style-type: none">二宮考古館、五日市郷土館、五日市図書館、五日市センター、五日市地域交流センター、五日市会館及び五日市保健センターの再編等の方向性（集約化・複合化・多機能化）に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。・五日市図書館について<ul style="list-style-type: none">五日市図書館の再編等の方向性である「移転・規模縮小・複合化・多機能化」のうち、「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。このことを踏まえ、五日市図書館は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小する方針を方向性の一つとして定めることとしています。また、現在、五日市図書館には、図書館司書の資格を有する職員を配置しています。・二宮考古館・五日市郷土館について<ul style="list-style-type: none">この度の再編等に関する実施計画（案）において、二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転・集約化する方針を定めることとしています。また、現在、二宮考古館と五日市郷土館には、学芸員の資格を有する職員の配置に配慮しております。戸倉しろやまテラス内の3階のジオ展示の取扱いについては、今後の参考とさせていただきます。・五日市保健センターについて<ul style="list-style-type: none">五日市学童クラブ第2については、再編等に関する実施計画を策定しており、「学校施設長寿命化計画との関連性が高いことから、同計画の期間内は、再編の方向性の選択を留保する。」方針を定めています。また、子育てひろば五日市につきましては、再編等に関する実施計画（案）に記載しておりますとおり、五日市保健センターの保健相談センター以外の機能として、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。・小宮ふるさと自然体験学校について<ul style="list-style-type: none">機能を秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」に集約することにつきまして、現段階の考え方としては、小宮会館を小宮ふるさと自然体験学校に移転し、規模縮小・複合化する方針を定めることとしています。・増戸分室について<ul style="list-style-type: none">中有図書館増戸分室の再編等の方向性である「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。また、「多機能化」は、「多機能化を検討することが妥当」であることを示しています。これらを踏まえ、中央図書館増戸分室は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小するとともに、施設利用者のニーズの高い新たなサービスの提供を行う方針（規模縮小・多機能化）を定めることとしています。また、規模縮小・多機能化において、現建物の使用中に学童・児童館が移転した際には、空きスペースを有効活用することとしております。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。・その他について<ul style="list-style-type: none">公共施設の再編等についての構想や市内循環バスの増便に関するご意見は、今後の参考とさせていただきます。
9	五日市図書館 中央図書館増戸分室	<p>五日市図書館はなくなるより移転してもいいと思います。 増戸は存続してほしいです。 循環バスは増便してほしいです</p>	<p>この度の再編等に関する実施計画（案）においては、図書館は4館体制を維持することとしています。五日市図書館は、現五日市地域交流センター等の敷地に移転し、施設の需要傾向に応じて規模縮小するとともに、スペースの活用や利用効率の向上のため、集約化、複合化する方針（移転、規模縮小、複合化、多機能化）を定めることとしています。 循環バスの増便に関するご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
10	秋川キララホール	<p>個人情報必ず守ってください。 よろしくお願いします。</p> <p>中規模ホールの集約化について反対します。 すでに中規模ホールを拠点とし20年近く活動をしている団体もあり、その活動において、置き換えたとしてもコストをキララホールでも同じように市が負担出来るのかと感じます。 キララホールが広域化といえど、市民以外使用が増えれば、市民活動へのキララホールなどの施設が大変使いづらい状況となると思います。 市税を使うなら市民にとっても使いやすい施設にして欲しい。今は平日でも利用しにくい。土日でも利用しにくい費用状況です。 市税を払うあきる野市民がどれだけ使用しているのか、広報等でも新しい施設のあきる野市民の利用者など知りたいものです。特に、フレア五日市の宿泊などはまさに市外からの収入源でと感じます。市民が無料お試し期間を作っても、この夏ほとんど使用していないのは残念です。平日は特に皆無でした。 また、そのような問題を解決する前に、フレア五日市のような施設を建設しているのは、いささか問題かあるのではないか。 5月あたりから議会では再編話が始まったとあるが、新しい施設や現存するホールなどの費用は、大きな団体や企業等で利用目的しか使われず、本来市民、市税で行われるのならば、キララホール使用についても、市民が使いやすい状況を作るべきなのではないか。 なぜ、キララホールが平日使われていないか、なぜ他のホールが平日使われていないか、それは利用のための費用があきる野市民に見合っていないからだろう。それだけ素晴らしい施設なのに、使われないのは非常に残念です。 設備ならキララホールから他の施設に運ぶ事で解決する事がいくつかある。キララホールから他の設備に回そうとしないのは、その設備担当者の未熟度合いや必要な手間をかけない様子も想像がついてくる。資材の各ホール固定ではなく、用途の移動などはないのか。まだ考える余地はたくさんあるだろう。 資料では、議論に及んだ詳細がなくただまとめて、コストを浮かせれば良いと言えるものしか見られない。 市は各ホールや施設の使いやすさ増やし、利用率を上げてからこそその集約化をしなければならないと思います。そのような努力も見えず、ただ集約化をしようとしている。 なにより中規模ホールだからこそ出来るものもあるのだ。 キララホールは、音楽的な要素が多くマイクなどを必須とし、大きな音が出るような舞台でしか用途が難しい。中規模ホールだと、市民の生声や直の楽器などでの様子が高齢者でも大変聞こえやすくなる。 舞台を使う者にとって、残念ながらキララホールに出来ない事が多すぎるのだ。 そうゆう問題を解決せず、収益がないから、集約化するなどというのは、非常に悲しく思える。 そうならば新しい施設、フレア五日市こそ、見切り発車の無駄使いになるのではないかと思う。誰も使わないから、イスを使って毎日休んでいるお年寄りに解放している様子を見るともっと使用する人はいないのかなんて思う。そんな使い方本当に正しいのか？なんて感じている人は多くいるだろう。日本山岳耐久レースでは、フレア五日市使っていましたが非常に残念でした。市民はほぼ誰一人いなかった。遠くから見っていました。 収益のための施設。市民が使えず、使いづらい、外部のための施設でいいのだろうか。 老朽化の問題はまた具体的にどのような問題があるのか、施設なのか、設備なのか、それがどれくらいかかるのか、設備の移動の費用はどうか、市民にそれぞれ公表すべきです。 市民の快適な環境は、集約化という縮小ではなく、老朽化という修繕拒否ではなく、現在活発的な活動団体1つ1つに声をかけ、活動を妨げず、支援することも必要であり、その支援に見合うコストが修繕などのコストより、本当に高くないか非常に不安な要素でもある。 使いやすい施設にしてみてものでしょうか。市の利用者が増えれば、その収入も増えると思います。 ご検討ください。</p>	<p>秋川キララホールの運用等に関するご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>秋川キララホールは、市内の中規模ホールを集約化する方針を定めることとしていますが、中規模ホールの機能を大規模ホールの機能で賄う施設を想定しているものではなく、大規模ホールの機能と中規模ホールの機能を両立できる施設（大規模ホールと中規模ホールの2つのホールを備えた施設、舞台や客席の配置等を変更し、大規模ホールと中規模ホールを切り替えることができる施設など）を想定しています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
11	全体 五日市郷土館 五日市図書館	<p>今回、広報などで示された「再編等に関する実施計画」が出されてきた政治的背景に注目しています。</p> <p>小泉内閣の「三位一体改革」にはじまり、安倍政権下での新自由主義経済政策の下で、国庫補助負担金の削減、地方交付税の見直し、税制見直し、地方超過負担、市職員の非正規化（会計年度任用職員）などにより、国のアメリカ言いなりの軍事拡大優先、大企業奉仕優先のためにおこった財政赤字のツケが地方自治体に転嫁されました。</p> <p>さらに、あきる野市は、旧秋川市政の開発優先失政のツケを借金（起債）に上乗せをしたことなどで、三多摩26市中最 高の借金自治体（平成4年度決算）となっていました。それが公共施設などの改修放置、市民サービスカット、市有地（市営住宅跡地）売却などとして、市民に負担が転嫁されました。</p> <p>公共施設等総合管理計画にもとづく統廃合・民間委託やコンパクトシティ、「連携中枢都市圏構想」などの「地方行革」や地方再編の地方自治体への押しつけには反対です。</p> <p>それは、地方自治の本旨は「住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域の実情に応じた行政を自主的に行うこと」にあるからです。したがって、国が一律の方針や計画を地方に押しつけるような形で進めることは、自治体の裁量や住民参加の余地を狭めることになり、結果として、地方の自主性の否定となります。</p> <p>よって、市政は、こうした地方自治体への財政圧迫や国の画一的な押しつけに反対し、国にその改善を求めるべきですが、あきる野市にはそうした努力のあとを見ることができません。</p> <p>さらに、公共施設は単なる建物ではありません。地域コミュニティの核です。</p> <p>公共施設を単なる「コスト削減」のためだけに進めることは、地域の未来、将来を生きる若者や子どもたちの権利をも奪うことになります。</p> <p>パブリックコメントとは、行政機関が政策や条例、計画などの案を策定する際に、広く市民や関係者から意見や情報を募集する制度を理解しております。</p> <p>五日市駅前の市有地活用に対する「パブリックコメント」のように、市民の意見を聞いただけで終わらせるだけでなく、パブリックコメントの趣旨に合うように行政が市民の意見を反映することを強く求めます。</p> <p>次に、2点について意見を述べます。</p> <p>「五日市郷土館」は、1980年（昭和55）年に建設されました。この施設は現在、市内で唯一「五日市憲法草案」関係資料を常設展示している施設です。より充実を求めます。</p> <p>「五日市図書館」は、1978（昭和53）年に建設されました。五日市図書館は、合併前、全国町村で最高レベルの図書館でした。5人の司書が配置されていました。図書館購入費は35.68%まで切り下げられました（令和4年度）。五日市図書館は、単なる建物ではありません。そこには市民のボランティア活動を含めて地域コミュニティとしての機能が働き、生きているのです。これは、廃止・縮小・統合ではなく、老朽化ならリニューアルまたは債権・充実をすべきです。</p> <p>市が「市民こそ主人公」の立場にたって市政を進めるよう求めます。</p> <p>（以上）</p>	<p>公共施設の再編等の取組につきましては、この度の再編等に関する実施計画（案）に付随する資料に記載していますとおり、「旧市町で保有していた施設の機能重複などから、公共施設の市民1人当たりの延べ床面積が多くなっている。」「人口減少、少子高齢化、西部で将来の減少率が大いなどの人口動態から、施設利用者の減少が見込まれる。」「公共施設の更新費用の不足が見込まれる。」ことから、将来にわたって適切な公共サービスを提供するために、必要な取組であると考えています。</p> <p>五日市郷土館については、この度の再編等に関する実施計画（案）において、二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転・集約化する方針を定めることとしています。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、今後検討していきま すが、二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転、集約化する場合には、文化財を適切に展示・保存・管理するための設備を備える考えです。</p> <p>五日市図書館については、建築から約50年が経過しており、いずれかの段階で建替えが必要となります。また、現在の五日市図書館の敷地面積と建築面積を考慮すると、現地での建替えを行うには、長期間休館する、仮設図書館を整備し一時的に移転するなどの措置が必要であり、現位置での建替えは難しいと考えています。このような状況のほか、公共施設の再編等の取組が必要であることを考慮し、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。市では、五日市郷土館、五日市図書館等の様々な機能を有する公共施設を集約化・複合化・多機能化することにより、幅広い利用が可能となり、各施設の魅力や機能をより高めることができると考えています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
12	秋川キララホール	<p>五日市在住の者です。</p> <p>この件について、中規模ホールの集約化には反対です。</p> <p>私は、市民劇団あきる野として、ふれあいセンターで公演してきました。</p> <p>その場所が無くなってしまうと、せっかく馴染んできた場所が、文化交流の場所が少なくなってしまうと、活動しにくくなってしまいます。</p> <p>他の場所に関してもやはり、その場所で活動してる方にとってはたいへん不便に感じることを思います。</p> <p>気軽に活動できる場所を、どうか失わないようにしてほしいです。</p> <p>コスト面でも財政等、大変だとは思いますが、1人でも市民がよりよい活動ができる場所を失わないように税金を使ってほしいなと思っております。</p> <p>なので、集約化を安易に計画しないようお願いいたします。</p>	<p>秋川キララホールは、市内の中規模ホールを集約化する方針を定めることとしていますが、中規模ホールの機能を大規模ホールの機能で賄う施設を想定しているものではなく、大規模ホールの機能と中規模ホールの機能を両立できる施設（大規模ホールと中規模ホールの2つのホールを備えた施設、舞台や客席の配置等を変更し、大規模ホールと中規模ホールを切り替えることができる施設など）を想定しています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>
13	五日市図書館	<p>先ず、計画案は92ページにもなる膨大なもので、それを読み込んで意見を上げる期間として、たった2週間であることに驚きました。市側は本当に市民の意見を聞くつもりがあるのか、はなばだ疑問に感じました。今後計画を実施していくに当たっては当該施設を利用している地域の市民へ説明会を開き意見を聞くよう要望いたします。</p> <p>P.38・39の五日市図書館の移転、規模縮小、現在の建物廃止に強く反対します。</p> <p>五日市図番館は、五日市保育園から約5分、五日市小学校から約3分、五日市中学校のすぐ隣にあります。</p> <p>私は保育園の子どもたちが先生に連れられて図書館に来て一人1冊、好きな本を借りているところに行き会ったことがあります。近いからできるのです。</p> <p>五日市小学校の子どもたちが学校帰りに立ち寄って本を読んだり、調べ物をしたり、宿題を広げている姿は何回も見ました。通学路の途中にあるからできることです。1年生に入学すると図書館2階の視聴覚室で読み聞かせをしてもらい、一階に下りて本の借り方を実際に体験しながら教わります。学校と図書館が近くて図書館にみんなが集まれる広い部屋があるからできることです。</p> <p>今の出張所の建物の中に移転すると今の図書館より更に3分ほど遠くなります。そして、多くの子は学校帰りの途中に寄るというよりはわざわざ行く感じになります。他の施設の部屋があったり、いろんな人に会ったりして、本の世界にはいっていくワクワク感はそがれるのではないのでしょうか？</p> <p>すべての小学校と図書館の関係が五日市のようになればいいと思っていました。ところが突然移転、縮小、今の建物は廃止という方針にとってもショックを受けています。せっかくの素晴らしい環境を奪わないでください。老朽化したのなら直したり、新しくしたりしてください。そのために税金を使ってください。</p> <p>図書館では地域の人たちもボランティアとしておはなし会を開いたり、様々な活動をして図書館を支え関わっています。私は以前、ボランティアとして、図書館の職員さんと一緒に人形劇に取り組み、たくさん子どもたちが観に来てくれたことがあります。広い部屋があって、熱心な職員さんがいらしたからできたことです。図書館は地域の子どもたちと大人の豊かなコミュニティが作られる場でもあると思います。</p> <p>おはなし会などを開くには一定の広さの部屋が必要です。周りで他の施設の出入りの人たちの声や物音がしては子どもたちはお話の世界に入り込めません。図書館は一定の広さの部屋を持つ独立した建物であるべきだと思います。</p> <p>コロナ禍以来、利用者が減ってまだ回復していないと聞きます。移転、縮小は地域住民、とりわけ子どもたちの本離れに拍車をかけるでしょう。それは長い目で見たとき決して賢い選択にはならないと思います。図書館は今の場所に存続させ、司書を増やし、予算も増やしてさらに良いものにしていくことがあきる野市の将来にプラスになると思います。図書館は地域の宝として大切にしていきたいものです。</p> <p>以上、図書館のことだけに絞って意見を述べさせていただきました。他の公共施設については残念ながら読んで考える時間がありませんでした。了解したわけではありません。今後、丁寧に説明し、意見を直接聞く機会も設けていただきたいと思います。</p>	<p>この度の再編等に関する実施計画（案）は、各施設の再編等の方向性（考え方）を示すものであり、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。また、この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、14日間としました。</p> <p>五日市図書館については、建築から約50年が経過しており、いずれかの段階で建替えが必要となります。また、現在の五日市図書館の敷地面積と建築面積を考慮すると、現地での建替えを行うには、長期間休館する、仮設図書館を整備し一時的に移転するなどの措置が必要であり、現位置での建替えは難しいと考えています。このような状況のほか、公共施設の再編等の取組が必要であることを考慮し、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。市では、五日市郷土館、五日市図書館等の様々な機能を有する公共施設を集約化・複合化・多機能化することにより、幅広い利用が可能となり、各施設の魅力や機能をより高めることができると考えています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
14	全体 五日市図書館	<p>あきる野市再編等に関する実施計画(案)についての意見</p> <p>計画(案)の閲覧場所にて、計画(案)を、抜粋なれどかなり読ませていただきましたので、それにより私の意見を述べさせていただきます。</p> <p>公共施設説の再編等について</p> <p>3の2で、「公共施設の市民一人当たりの延べ床面積が多くなっている」とありますが、これは「少子高齢化等により、施設利用者の減少が見込まれること」により延べ床面積が更に多くなるとお考えでしょうか、多すぎるまでの広さになりはしないでしょう。多いことは望ましいと考えます。又、適正配置とは、何ををもってその基準としているのかが、示されていないですね。</p> <p>次ぎに私の一番述べたい施設について記します。</p> <p>〔五日市図書館〕</p> <p>このあきる野に移り住んで51年余。本好き(いろいろなジャンル)な私の心の拠り所として、父や学校で受けた教育と共に、五日市図書館は最高の心のオアシスそして生長の源です。</p> <p>資料4 解りやすいです。</p> <p>再編等に関する実施計画(案)</p> <p>①事業の概要…了解です</p> <p>②事業の現状…了解です</p> <p>③将来的な事業のあり方(方向性)</p> <p>「移転・規模縮小し・・・・・・・集約化・複合化・多機能化する」には絶対反対!(詳しくは、後述)</p> <p>④事業の課題・・・・・・了解ですが、大きい問題で難しいですね</p> <p>⑥再編モデル案検討のための施設特性整理</p> <p>・表中の○×の意味が解りにくい</p> <p>・表右の文「・・・・継続していくためには、他施設との複合化・集約化も検討していく必要がある」確かにそうだが、市はどちらの方向を向いているのかが解りにくい文言であると感じる。</p> <p>・「幼児から高齢者まで・・・・・・宅配・電子図書などの検討も必要である。」大賛成です。</p> <p>⑧再編等の方向性多び修繕・改修等の考え方</p> <p>「廃止」とあるが、絶対反対!廃止して、その土地はどうするのですか?示されていませんね。売却して、市の財政に補填するのですか?絶対にあってはならないことです。</p> <p>①～⑪まで読んでも、「五日市」の立地条件及び歴史や環境の良さが生かされていません。五日市はあきる野の中でも比較にならないほど素晴らしいのです。人間が人間らしく生きられる場所です。都会の喧騒さが無い緑豊かな土地なのです。1拠点に集約するという効率ばかりを追求するのではなく、今迄通り分散し、おおらかに伸々と過ごすことが、子どもにとっても大人にとっても必要・大切なことです。それは、犯罪を生まないための必須条件と考えます。</p> <p>◎1つお願いがあります。</p> <p>このようなあきる野市にとって大事な事を決める場合には、それを考える時間としては、2週間は余りにも短かすぎます。今後はもっと時間に余裕をとって下さるよう、お願い致します。</p>	<p>公共施設の再編等の取組につきましては、この度の再編等に関する実施計画（案）に付随する資料に記載していますとおり、「旧市町で保有していた施設の機能重複などから、公共施設の市民1人当たりの延べ床面積が多くなっている。」「人口減少、少子高齢化、西部で将来の減少率が大きいなどの人口動態から、施設利用者の減少が見込まれる。」「公共施設の更新費用の不足が見込まれる。」ことから、将来にわたって適切な公共サービスを提供するために、必要な取組であると考えています。このことを踏まえ、適正配置とは、「現在と将来を見据え、本市の公共施設を本市の身の丈に合った状態とすること、継続的に維持管理や更新ができる状態とすること」であると考えています。</p> <p>五日市図書館については、建築から約50年が経過しており、いずれかの段階で建替えが必要となります。また、現在の五日市図書館の敷地面積と建築面積を考慮すると、現地での建替えを行うには、長期間休館する、仮設図書館を整備し一時的に移転するなどの措置が必要であり、現位置での建替えは難しいと考えています。このような状況のほか、公共施設の再編等の取組が必要であることを考慮し、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。市では、五日市郷土館、五日市図書館等の様々な機能を有する公共施設を集約化・複合化・多機能化することにより、幅広い利用が可能となり、各施設の魅力や機能をより高めることができると考えています。</p> <p>この度の再編等に関する実施計画（案）は、各施設の再編等の方向性（考え方）を示すものであり、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。また、この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、14日間としました。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
15	五日市図書館	<p>概要</p> <p>五日市図書館の移転・縮小について、反対です。財政難を乗り切る今こそ、市民と行政側の力を結集して検討し再編する。更に、こども基本法(2023年4月)に則り、子供の意見も聞くべきである。</p> <p>意見及び理由</p> <p>① 図書館は知識を得る大切な文化施設です。もし、仮に数年後、老朽化及び理由による建て替えて、図書館が複合施設に集約されるとしても、五日市図書館は、現在の規模を維持することを強く要望します。</p> <p>他地区で実践されている複合施設や空き教室を利用した取り組みなど、を参考にして、あきる野市に有効な施設の再編情報を紹介してもらえると更に検討がしやすくなると思います。他地区では、あれもこれも一緒に複合施設となり、どの施設も中途半端な機能しか果たせなくなる事例もあるようです。そのような事態にならないようにお願いします。</p> <p>② 「こども基本法」の規定に沿う取り組みとして、子ども施策を策定するため、子どもや保護者などの声を反映させるため必要な措置を講じて、再編の必要性を説明し、意見を聞くべきだと思います。</p> <p>③ 広報掲載の『施設の老朽化による再編について』の記事について、日々、仕事や学業、子育てなど多忙な毎日を送る市民が広報の紙面から、またはSNS画面のお知らせだけで、何人の市民の目に留まり、関心を持てたのでしょうか。意見を聞くには、2週間では短すぎると思います。利用者(子どもたちも含め)に丁寧に説明すること、そして意見を聞く会を開いて、市民のための再編実施計画を立てる必要があると思います。</p> <p>④ 再編に当たり、子どもたちの成長を豊かにする文化・スポーツ施設等がどのように継承されていくのか手立てを検討する時間を取ってください。少子化の実態を踏まえ、より良い子供の居場所作りを施設利用者目線で考えてください。</p> <p>⑤ あきる野市の将来を担う子どもたちは「あきる野市の宝」です。あきる野市に移住を考えている未来の市民の方々のためにも、あきる野市のよりよい再編となりますようお願いしています。</p>	<p>①について</p> <p>五日市図書館については、建築から約50年が経過しており、いずれかの段階で建替えが必要となります。また、現在の五日市図書館の敷地面積と建築面積を考慮すると、現地での建替えを行うには、長期間休館する、仮設図書館を整備し一時的に移転するなどの措置が必要であり、現位置での建替えは難しいと考えています。</p> <p>また、五日市図書館の再編等の方向性である「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。これらを踏まえ、五日市図書館は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小する方針を方向性の一つとして定めることとしています。</p> <p>このような状況のほか、公共施設の再編等の取組が必要であることを考慮し、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。市では、五日市郷土館、五日市図書館等の様々な機能を有する公共施設を集約化・複合化・多機能化することにより、幅広い利用が可能となり、各施設の魅力や機能をより高めることができると考えています。</p> <p>②及び③について</p> <p>この度の再編等に関する実施計画（案）は、各施設の再編等の方向性（考え方）を示すものであり、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。また、この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、14日間としました。</p> <p>④及び⑤について</p> <p>スポーツ施設など、子どもの居場所づくりに関するご意見などは、今後の参考とさせていただきます。</p>
16		<p>1. 今回の計画案は公共施設の多くにわたっています。それを10月1日付の広報で告示し、たった2週間で意見を求めるのはあまりにも乱暴ではありませんか、もっと時間をかけていねいに是非取り組んで下さい。</p> <p>2. どの施設も市民の生活に身近にかかわる施設です。施設の使用目的でいくつかに分類し、公共交通のように市民参加の検討委員会を是非作って下さい。</p> <p>3. 図書館については、統合ではなく、むしろもっと地域に分室を作る方向で検討してほしいと思います。高齢化にともない遠くまで出かけるのが段々、きびしくなってきました。以前あった地域文庫のように各町内会に分室があったらいいなと思います。</p> <p>4. あきる野市には公民館は中央公民館しかありません。地域の文化活動の拠点となるよう地域の会館等との連携を取り、各地域にある会館を充実させて下さい。</p>	<p>1と2について</p> <p>この度の再編等に関する実施計画（案）は、各施設の再編等の方向性（考え方）を示すものであり、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。また、この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、14日間としました。</p> <p>3について</p> <p>この度の再編等に関する実施計画（案）では、図書館は4館体制を維持することとしています。</p> <p>4について</p> <p>公民館と地域の会館等との連携に関するご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
17	全体 五日市郷土館 五日市図書館	<p>今回公表された「再編等に関する実施計画（案）」について、国や自治体を取り巻く社会的背景を踏まえ、市民の立場から意見を申し上げます。</p> <p>近年、国の進める「地方行革」や「コンパクトシティ」などの政策のもとで、地方自治体は国の財政方針に大きく影響を受けてきました。地方交付税の見直しや補助金削減、人件費抑制などにより、公共サービスの縮小や施設再編が全国的に進められています。</p> <p>あきる野市も、旧秋川市政期の開発優先の結果として多額の市債を抱え、三多摩地域で最も高い水準の借金自治体となった経緯があります。その後の財政運営では、市民サービスの削減や公共施設の改修延期など、市民生活に直接影響が及びました。</p> <p>公共施設は単なる建物ではなく、地域の歴史や文化、人と人とのつながりを育む重要な拠点です。再編の目的が「コスト削減」のみに偏ることは、地域コミュニティの力を弱め、次世代に負の影響を残すことにつながります。</p> <p>地方自治の本旨は、「住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域の実情に応じた行政を自主的に行うこと」にあります。国の方針を一律に押しつけるのではなく、地域の自主性と市民参加を尊重した市政運営を強く望みます。</p> <p>パブリックコメント制度は、市民の意見を市政に反映させるための大切な仕組みです。五日市駅前市有地活用の際のように、意見を「聴くだけ」で終わらず、計画段階で市民の提案を生かす姿勢を求めます。</p> <p>特に次の2点について申し上げます。</p> <p>1. 五日市郷土館について</p> <p>1980（昭和55）年に建設された同館は、「五日市憲法草案」資料を常設展示する唯一の施設です。地域の歴史を次世代へ継承する拠点として、展示内容や資料保存の充実を要望します。</p> <p>2. 五日市図書館について</p> <p>1978（昭和53）年開設以来、地域文化を支える拠点として多くの市民に親しまれてきました。かつては5名の司書が配置され、全国的にも高い水準を誇りましたが、現在は図書購入費の大幅削減が続いています。老朽化を理由とした廃止・統合ではなく、リニューアルや機能強化による再生を求めます。</p> <p>あきる野市が「市民こそ主人公」の立場に立ち、市民参加による持続可能なまちづくりを進めることを強く期待いたします。</p> <p>（以上）</p>	<p>公共施設の再編等の取組につきましては、この度の再編等に関する実施計画（案）に付随する資料に記載しておりますとおり、「旧市町で保有していた施設の機能重複などから、公共施設の市民1人当たりの延べ床面積が多くなっている。」「人口減少、少子高齢化、西部で将来の減少率が大いなどの人口動態から、施設利用者の減少が見込まれる。」「公共施設の更新費用の不足が見込まれる。」ことから、将来にわたって適切な公共サービスを提供するために、必要な取組であると考えています。</p> <p>1について</p> <p>五日市郷土館については、この度の再編等に関する実施計画（案）において、二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転・集約化する方針を定めることとしています。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、今後検討していきますが、二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転、集約化する場合には、文化財を適切に展示・保存・管理するための設備を備える考えです。</p> <p>2について</p> <p>五日市図書館については、建築から約50年が経過しており、いずれかの段階で建替えが必要となります。また、現在の五日市図書館の敷地面積と建築面積を考慮すると、現地での建替えを行うには、長期間休館する、仮設図書館を整備し一時的に移転するなどの措置が必要であり、現位置での建替えは難しいと考えています。このような状況のほか、公共施設の再編等の取組が必要であることを考慮し、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。市では、五日市郷土館、五日市図書館等の様々な機能を有する公共施設を集約化・複合化・多機能化することにより、幅広い利用が可能となり、各施設の魅力や機能をより高めることができると考えています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>
18		<p>「公共施設等総合管理計画」に基づく実施計画（案）に対する意見</p> <p>長い間あきる野市に暮らしてまいりました者として、今回の「再編等に関する実施計画（案）」について、日頃の生活実感をもとに意見を申し上げます。</p> <p>このまちな、昔に比べると便利になった一方で、人のつながりや地域のにぎわいが少しずつ薄れてきたように感じます。そうした中で、公共施設は単なる建物ではなく、地域の人々が集い、支え合う大切な場所だと思っております。お金のことも大切ですが、「人と人とのつながり」こそ、まちの財産ではないでしょうか。</p> <p>国の方針のもとで進められている「地方行革」や「コンパクトシティ」などの政策は、効率を重んじるあまり、地方の実情や暮らしの温かさを見えなくしてしまうのではないかと心配しています。地方自治の本来の目的は、「住民の福祉の増進」にあると思います。市には、国のやり方をそのまま受け入れるのではなく、市民とともに考え、市民の立場に立った市政を進めていただきたいと願っております。</p> <p>また、パブリックコメントは市民の声を聴くだけでなく、それを計画に生かすための制度です。どうか「意見を聞いて終わり」ではなく、寄せられた思いを市政に反映していただきたいと思います。</p> <p>とりわけ次の2点についてお願い申し上げます。</p> <p>1. 五日市郷土館について</p> <p>郷土館は、1980（昭和55）年に建てられ、「五日市憲法草案」の資料を常設展示している貴重な施設です。地域の歴史を次の世代に伝える場として、今後も充実させていただきたいと思います。</p> <p>2. 五日市図書館について</p> <p>1978（昭和53）年にできた五日市図書館は、昔から多くの市民に親しまれてきました。かつては司書の方も多く、今でも子どもたちが本を通して夢を広げる姿をよく見かけます。そして中高生の帰り道でもあり、学習にも利用されています。中高年の方々は毎日のように新聞や雑誌を読んでおられ、私もよく利用させてもらっています。</p> <p>老朽化を理由に縮小や統合をするのではなく、ぜひリニューアルして、これからの時代にもふさわしい「地域の学びの場」として守り、育てていただきたいと願っています。</p> <p>どうか市が「市民こそ主人公」という立場に立ち、これからのあきる野を、誰もが安心して暮らせるまちとして発展させてくださるよう、心よりお願い申し上げます。</p> <p>（以上）</p>	<p>公共施設の再編等の取組につきましては、この度の再編等に関する実施計画（案）に付随する資料に記載しておりますとおり、「旧市町で保有していた施設の機能重複などから、公共施設の市民1人当たりの延べ床面積が多くなっている。」「人口減少、少子高齢化、西部で将来の減少率が大いなどの人口動態から、施設利用者の減少が見込まれる。」「公共施設の更新費用の不足が見込まれる。」ことから、将来にわたって適切な公共サービスを提供するために、必要な取組であると考えています。</p> <p>1について</p> <p>五日市郷土館については、この度の再編等に関する実施計画（案）において、二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転・集約化する方針を定めることとしています。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、今後検討していきますが、二宮考古館と五日市郷土館（郷土館）を規模縮小・移転、集約化する場合には、文化財を適切に展示・保存・管理するための設備を備える考えです。</p> <p>2について</p> <p>五日市図書館については、建築から約50年が経過しており、いずれかの段階で建替えが必要となります。また、現在の五日市図書館の敷地面積と建築面積を考慮すると、現地での建替えを行うには、長期間休館する、仮設図書館を整備し一時的に移転するなどの措置が必要であり、現位置での建替えは難しいと考えています。このような状況のほか、公共施設の再編等の取組が必要であることを考慮し、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。市では、五日市郷土館、五日市図書館等の様々な機能を有する公共施設を集約化・複合化・多機能化することにより、幅広い利用が可能となり、各施設の魅力や機能をより高めることができると考えています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
19	全体	<p>理念・目標・長期見通し・策定原則のない、「再編等実施計画」決定を急がないでください</p> <p>1. 社会・地域の変化に対応する公共施設の再編は必要です 市内の公共施設は、1市1町の時期、6町村の時期と遡る先人たちの願いと財政的な負担によって形成されてきたものであることを忘れてはなりません。そして、長くあきる野市に住んできた人たち、この地のよさを見出して移住してきた人たちの幸せ(wellbeing)を、公正に、持続的に下支えするものです。これを踏まえて、提案された「再編等実施計画」を検討したいと思います。 国の「インフラ長寿命化基本計画」(2013年)を待つまでもなく、東京一極集中、少子高齢化の進展、地球環境問題の深刻化、そしてなによりも国民・市民の生き方や幸福感の変化、求められる公共サービスの変化により、あきる野市の公共施設の再編をすすめるのは当然のことです。ゴールは、「将来にわたる適切な公共サービスの提供」です。「公共サービス提供」と「建物の方向性」との「最適な組み合わせ」を見つけ出すことです。</p> <p>2. 公共施設再編の長期計画が不可欠です 示された「再編等実施計画(案)」は、「あきる野市公共施設等総合管理計画」(2016年)に基づくものです。しかし、この「総合管理計画」は本市における公共施設のあり方理念も長期的な見通しもまったく書かれていません。すでに示されていた国の「インフラ長寿命化基本計画」についても、「老朽化や中長期の維持管理を強化することにより、国土強靱化(ナショナル・レジリエンス)に資する」ものであることを「背景」として述べるだけです。長期計画として必須となった「脱酸素」「ダイバーシティ/ソーシャル・インクルージョン」「ハイテク活用」等々の視点は全く見られません。 各施設の「再編の方向」を計画して、次期「総合管理計画」にこれらの視点を盛り込むというのは、順序が逆です。再編全体の方針を決めてから、個別施設の「再編の方向」を決めるのは当然の順序です。</p> <p>3. 理念・目標の設定と共有が必要です 「公共施設の再編」は、一部痛みが伴います。しかし、その「再編」によって新しい町の姿が具体化し、適正な「公共サービスが」提供され使いやすくなった、税金がより有効に支出されるようになったとなれば、個々の痛みはやむを得ないと考える人が増えるでしょう。ともに街づくりをすすめることができるようになります。ゴールは、「将来にわたる適切な公共サービスの提供」です。「公共サービス提供」と「建物の方向性」との「最適な組み合わせ」を見つけ出すことです。 パプコメ募集の説明文には、「公共施設の市民1人当たりの延べ床面積」が取り上げられています。しかし「再編」によってどれほどの「床面積」を減らすことを目標としているのかは示されません。（「方向性」ですから試算さえできません）これを多自治体並みに下げることが目標であるとは考えられません。 課題は、床面積の縮減によって、施設の更新等や維持管理にかかる費用を削減することであるということと言うまでもありません。近隣市においては、「面積縮減によって削減される費用」（解体撤去費用も含む）を試算しています。「再編」による費用削減が、市の財政にどれほどの効果をもたらすのか見込みまでを示すことによって、大多数の市民の同意が得られるようになるでしょう。これは今回のような「方向性」を示す「再編計画（案）」ではできないことです。 「公共サービス」のあり方それを保障する「公共施設のあり方」の理念を市民と共に練り上げ、共有し、「再編計画」によって実現する具体的な目標の提案が必要です。</p> <p>4. 「再編計画」をどのように策定し実行するのかを「見える化」してください 今回のパプコメに関する説明では、「再編計画」の位置づけは、2行の説明と「個別管理計画」（2021年）の図が示されているだけです。なぜ2025年度に40施設の「再編計画」を決めるのか、その「再編計画（案）」がどこで、誰の意見によって、どのように練り上げられ成案を得たのか、策定の経過は見えません。今後、この「再編計画」が決まったら、どのような筋道で、いつ頃実施に進むのか、今後の見通しも見えません。 現在では、市民の多くに関わる大きな計画を策定、実施するとき、検討や取り組みの進め方を示すのは、地方自治体行政の大原則になっています。「計画策定プロセス」が広く示され、必要な時点で市民の多様な声が反映されるのは当然のことです。都内のある自治体は、「区立施設マネジメント計画」の計画の基本方針の第1に「区民との対話による取り組みの推進」を掲げています。 また計画策定のために参照した資料・情報を示すのは、市民の意見を聞く際の大前提です。「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」にも「市民等が当該政策等の案を理解するために必要な情報を公表」することが述べられています。 東大和市の「東大和市公共施設再編計画」には、資料として「多摩26市の主な施設の比較」がまとめられ、あきる野市など6市が「類似団体」としてマークして示しています。これを見ると、あきる野市の図書館は「市民一人あたりの蔵書数」は6市中1位、「図書館までの平均距離」は他5市の倍以上であることが一目瞭然です。 適切な資料提供がなされないのも、今回の「再編等実施計画(案)」の出し方に因るものです。</p> <p>5. 公共サービスは「圏域」ごとの検討が不可欠です 「公共施設」は住民がアクセスすることによって、「公共サービス」を受けることができます。国土交通省（『都市構造評価ハンドブック』）では一般的な徒歩圏を800mとしていますが、「サービス」ごとに、適切な距離を想定することが必要です。東西に広がり、公共交通の状況も異なるあきる野市で適正な「圏域」をどう設定するかは独自の検討が必要です。しかし、個別の「再編計画(案)」ではこのような検討ができません。資料として不可欠な、「公共サービス」ごとの、今回検討の対象になっていないものも含む「施設」の配置地図が示されていません。</p> <p>総括 1～5までに述べたことは、今回の施設ごとの「再編計画(案)」の提示、決定では、「公共サービス提供」と「建物の方向性」との「最適な組み合わせ」を見つけ出すことができないということです。理念・目標・長期見通し・策定原則を示す「公共施設再編計画」を策定し、熟議と市民の合意の上に立って、公共施設の再編という大仕事を成功させてほしいと願っています。「再編等実施計画(案)」を一旦引き下げることを求めます。</p>	<p>1 と 3 について 公共施設の再編等の取組につきましては、この度の再編等に関する実施計画（案）に付随する資料に記載していますとおり、「旧市町で保有していた施設の機能重複などから、公共施設の市民1人当たりの延べ床面積が多くなっている。」「人口減少、少子高齢化、西部で将来の減少率が大きいなどの人口動態から、施設利用者の減少が見込まれる。」「公共施設の更新費用の不足が見込まれる。」ことから、将来にわたって適切な公共サービスを提供するために、必要な取組であると考えています。 この取組の理念と目標につきましては、公共施設の適正配置の実現であり、適正配置とは、「現在と将来を見据え、本市の公共施設を本市の身の丈に合った状態とすること、継続的に維持管理や更新ができる状態とすること」であると考えています。現段階における目標の1つとして、再編等に関する実施計画（案）に付随する資料に記載しておりますとおり、「本市が保有している公共施設を今後も保有し続ける場合、必要となる維持管理及び修繕・更新等に係る費用の推計は40年間（2021年度～2060年度）の合計で約1,237億円、年平均で約31億円となり、年平均約16億円の不足が見込まれる。」ことを解消することが挙げられます。</p> <p>2 について ユニバーサルデザイン化の推進方針、脱炭素化の推進方針につきましては、総務省から発出されている「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針の改訂について」に則り、公共施設等の管理に関する基本的な考え方として、再編等に関する実施計画の上位計画である公共施設等総合管理計画に位置付ける予定です。また、デジタル技術の活用に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>4 について この度の再編等に関する実施計画（案）の取りまとめに当たりましては、公共施設等個別施設計画の策定時から着手し、令和4年度、令和5年度に必要な資料を収集し、令和6年度に再編等の方向性などの取りまとめ方法を定め、関係部署による打ち合わせ、公共施設等適正化検討プロジェクトチーム本部会議、経営会議において、審議などを行っています。また、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。</p> <p>5 について この度の再編等に関する実施計画案の取りまとめにおいて、再編等の方向性を選定するに当たり、評価項目の1つに「利便性への影響の度合い」を設け、各公共施設において提供されるサービスの性質などを考慮しながら、利用者の利便性に対する影響の度合いを評価しています。また、現段階において、集約化の位置等が決定できていないものがあることから、施設の配置地図等をお示しすることは困難な状況です。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
20	中央図書館 中央公民館 五日市図書館 五日市郷土館 二宮考古館	<p>中央図書館の規模縮小、多機能化に反対します。</p> <p>図書館は図書の貸出などの市民サービスとともに記録となる資料の収集・保存なども重要だと思います。実施計画(案)の中では「単独機能での建物利用が望ましい。蔵書は年々増加し集約化は難しい」とあります。それなのに、なぜ「規模縮小・多機能化」となるのかは理解できません。また、現在は施設の規模などを問題にしていますが、運営などを指定管理者など民間に委託するということも心配です。そのようなことは絶対にないようお願いします。</p> <p>中央公民館の規模縮小、複合化に疑問があります。</p> <p>現在、公民館で英語のサークル活動を行っています。毎週公民館へ行く度に多くの方々が利用しているのを目にします。公民館は生涯学習を支える大事な場だと思います。</p> <p>「他の貸出し施設との集約化・複合化に当たっては、施設の性格や貸出要件の制約等に違いがあることから、事前に十分検討する必要がある」とあるように、「時間帯により余剰スペースあり」といっても簡単に規模縮小して、スペースのあきがない時は他の施設を利用という訳にはいかないと思います。現状でも、ルビアと公民館では部屋の貸出料金が大きく違います。</p> <p>五日市図書館・五日市郷土館の建物廃止への疑問。</p> <p>五日市図書館、五日市郷土館などは、現在ある建物を廃止し、五日市交流センターなどがある場所に移転ということです。「現在の建物の活用・転用」といっても、図書館や郷土館として使うのは難しいと思います。「新たな建物の整備を想定」とも書いてありますが、五日市図書館や五日市郷土館としてきちんとした新しい建物をつくるのでしょうか。それにはかなり費用もかかります。新しい建物の建設と五日市図書館などを改修するのでは、どちらが費用は安くすみますか？</p> <p>二宮考古館と五日市郷土館の建物を統合する案ですが、それにより、今まで行ってきた事業が少なくなった訳ではないと思います。今でさえ職員が手薄な状態が更にひどくなることがあってはならないと思います。</p> <p>五日市地区の公共施設の再編は、他の地区にあるものとは比べられない程、影響は大きいと思います。五日市の方々は知っていらっしゃるのでしょうか。このパブコメで意見は聞いたと決定にいたるのではなく、きちんと住民や利用者へ説明の場をもち、その上での決定がいいのではないかと思います。</p>	<p>・中央図書館の規模縮小、多機能化について</p> <p>中央図書館の再編等の方向性である「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。また、多機能化は、「多機能化を検討することが妥当」であることを示しています。これらを踏まえ、中央図書館は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小するとともに、施設利用者のニーズの高い新たなサービスの提供を行う方針（規模縮小・多機能化）を定めることとしています。</p> <p>中央図書館の運営の民間委託化に反対のご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>・中央公民館の規模縮小・複合化について</p> <p>中央公民館の再編等の方向性である「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。また、「複合化」は、「スペースの活用や利用効率の向上が課題であり、機能の複合化を検討することが妥当」であることを示しています。これらを踏まえ、中央公民館は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小するとともに、機能面においては、他の公共施設の再編等に合わせ、他の施設の機能を複合化する方針（規模縮小・複合化）を定めることとしています。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。</p> <p>・五日市図書館・五日市郷土館の建物廃止について</p> <p>五日市図書館、五日市郷土館等の集約化・複合化・多機能化に当たりましては、現在の建物の活用・転用、新たな建物の整備を想定しており、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、今後検討することとしています。新しい建物の建築費と現在の五日市図書館の建物の改修費を比べた場合、後者の方が安価となる可能性はありますが、五日市図書館は、建築から約50年が経過し、いずれかの段階で建替えが必要となります。また、五日市図書館、五日市郷土館等の集約化・複合化・多機能化により、公共施設全体の建物維持管理及び修繕・更新等に係る経費の圧縮ができると考えています。</p> <p>二宮考古館と五日市郷土館の職員配置に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。</p>
21	五日市図書館	<p>パブリックコメント募集ありがとうございます。</p> <p>五日市図書館は、新聞、雑誌、書籍の閲覧や貸し出しを利用しております。</p> <p>書籍を借りる場合は、本棚を見て選ぶ場合と、ネットで予約する場合と両方あります。</p> <p>規模を縮小して開架本棚が少なくなる、もしくは、なくなるのは、残念ではありますが、利用者が少ない場合はやむを得ないかなと思います。</p> <p>開架がなくてもレファレンスサービスがあると、開架の資料を活用することができてよいと思います。</p> <p>貸出・返却の窓口、レファレンスサービス、雑誌新聞の閲覧の機能は五日市に残していただけるとよいと思います。</p> <p>公共施設については、割と身近な問題でもありますし、自治会にも意見を聞いてみたらよいかなと思いました。</p>	<p>五日市図書館については、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。市としましては、五日市郷土館、五日市図書館等を現五日市地域交流センター等の敷地に集約化・複合化・多機能化することで、利便性の向上を図れるものと考えています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>
22	秋川キララホール	<p>2025年10月1日広報NO.774記載『「再編等に関する実施計画」の『小規模ホールの中規模ホールへの「集約化」』の項を反対申し上げます。</p> <p>小規模ホールは、中規模ホールと違い、観劇し易さ、音響、照明が観客の期待に応えやすい。消費するエネルギーも少なく小規模で、芸術的にも文化的にも効果的なのは、小規模です。</p> <p>中規模ホールに当たるきららホール」は、役割として、市の行政上に必要な市民集会、市立及び公立の卒業式、大きな劇団の公演など、多くの市民を収容し効果的に目的を実現するホールと理解しております。</p> <p>我が市民劇団『あきる野』は、平成17年6月あきる野市が主催した市民大学『演劇入門』NHK劇作家高垣葵先生の指導で行いました。翌年この市民大学を基礎に、あきる野市文化祭に平成18年11月『青鞥の女達』を、ふれあいセンタのホールで創立公演を行いました。今年も、あきる野市文化祭公演『ジャンヌダルク』を10月4日に行いました。</p> <p>我が劇団は、市民に愛され、春秋公演を20数回行いました。基本ベースとして、300余収容のふれあいセンタの規模のホールをベースにした芝居を行い、キララホールの規模の公演は、大変困難です。</p> <p>中規模ホールでの公演は、演技・舞台効果が難しく、13～84歳の男女が所属する、我が劇団の、存亡に関わる事です。あきる野市の文化、即ち我が劇団を市民の皆様への文化の“灯”、“愛”を消したくない思いです。宜しく、ご配慮し、行政をお願い申し上げます。以上</p>	<p>秋川キララホールは、市内の中規模ホールを集約化する方針を定めることとしています。中規模ホールの機能を大規模ホールの機能で賄う施設を想定しているものではなく、大規模ホールの機能と中規模ホールの機能を両立できる施設（大規模ホールと中規模ホールの2つのホールを備えた施設、舞台や客席の配置等を変更し、大規模ホールと中規模ホールを切り替えることができる施設など）を想定しています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
23	中央公民館	<p>中央公民館について</p> <p>「規模縮小・複合化（一部機能移転（※））（規模縮小のうえ複合化により有効活用）一部機能移転は、他の公共施設に公民館機能の一部を移転する。」について</p> <p>公民館は歩いて行ける地域毎に分館があることが望ましい。あきる野市は中央公民館として1館あるだけで、それも交通の便が良いとは言えない地域にある。るのバスも土日は運行していない。他の公共施設に一部移転するとあるので、分館ができると考えて良いのか？たとえば、ルピア内に移転であれば、鉄道やバスの便もよいので地理的には非常によいと思う。</p> <p>問題は分散したところにそれぞれ専門の職員を配置できるのか？ 公民館は単なる貸し館でなく、館としての事業を行ったり、市民とともに地域課題を考えていく「教育機関」であることから、その運営がきちんとできる人的体制を整える必要がある。運営について市民が意見を言えるように運営審議会、協議会も持つべきである。</p> <p>建物老朽化に伴う再編がメインなのだろうが、ハコ物の視点だけでなく、運営のあり方、人材の配置など教育機関としての機能が維持、または拡大できる計画であってほしい。</p> <p>規模縮小とあるので、不安なのが調理室である。</p> <p>子ども食堂の調理室がなくて困っている。ふれあいセンターの調理室は市民ボランティアには解放されず、公民館調理室で作ったものをふれあいセンターまで運んでいる。公民館の調理室まで、なくなったら食堂は成り立たない。</p> <p>統廃合を考えるのであれば、調理室がある施設も視野に入れて考えてほしい。萩野センター、五日市センターなど旧在宅介護支援センター、学校の家庭科室、、、調理室があっても市民が使えない。なんとも残念でならない。整理統合の際は縦割り管理でなくゆるやかにできないものか。</p> <p>以上</p>	<p>中央公民館の再編等に関する実施計画（案）における再編等の方向性の一部である「一部機能移転」は、他の公共施設に公民館機能の一部を移転することを想定しており、対象施設や機能の位置付け（分館とするのかなど）を含め、別途検討することとしています。</p> <p>中央公民館の再編等の方向性である「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）」であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。このことを踏まえ、中央公民館は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小する方針を方向性の一つとして定めることとしています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。</p>
24	五日市郷土館 二宮考古館 五日市図書館	<p>・私は図書館(1中央館、3地域館)・二宮考古館・五日市郷土館については、資料の収集と保存も大切な役割と考えています。なので、P19に書かれている中央図書館の「蔵書数は年々増加傾向であり、中央館としての機能を果たすためにも複合化・集約化は難しいと考える。」という文章には私も賛同します。しかし、蔵書数の増加は中央図書館だけでなく、他の地域館にもいえることです。今の状況でも慢性的に書架が埋まっているのに、規模適正度の評価が、「規模適正」となっていることは理解できません。適正の根拠が知りたいです。逆に二宮考古館・五日市郷土館では、規模適正度の評価が、「スペースが不足している」となっているのは、まったくその通りであると私も思います。</p> <p>建物の老朽化が進むと、保管状態にも悪影響を及ぼすため、資料の保管状態が心配です。図書館における地域資料も含めて、考古館・郷土館に所蔵・収蔵されている資料は、他の市町村を頼ることができないため、自分の市のなかで責任をもって保管・提供することが必須になります。資料を適切に保管し、緊急時の対応策も整っている環境での保管を望みます。また外部に書庫・収蔵庫のスペースを確保することも大切ですが、利用が見込まれるものには、外部ではなく内部にスペースをつくり、利用者への提供時間も出来る限り短くする努力もして欲しいです。</p> <p>・五日市図書館と郷土資料館・二宮考古館は、他のいくつかの施設と集約化し、建物を廃止するということですが、集約することによってそれぞれの床面積がせまくなるようなことは避けて欲しいです。</p> <p>・公民館に代表される施設の貸し出しについては、利用の時間や施設の機能によって、使用される頻度にかなりばらつきあるよう(例:和室の部屋が埋まりやすい、土日は埋まっているが、平日は空いている)に思います。集約される場合は、あきる野ルピアに記載されている施設へのアクセスの観点だけでなく、駐車場の有無や、利用者から必要とされている施設の機能(例:部屋の大きさ、防音設備、和室)についても分析して、使用率が向上するような集約を求めます。</p>	<p>・中央図書館等、二宮考古館、五日市郷土館の再編等に当たりましては、図書館法、あきる野市郷土資料展示等施設の設置及び管理に関する条例等を尊重しながら、取り組んでいきます。</p> <p>・五日市図書館、五日市郷土館（郷土館）及び二宮考古館の再編等の方向性の一つである「規模縮小」は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性との兼ね合いで、利用度が低調（今後の見込みを含む）」であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。このことを踏まえ、五日市図書館等は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小することを方針（規模縮小）の一つとして定めることとしています。</p> <p>・貸し館機能の集約化に関するご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
25	全体 中央公民館 秋川キララホール 中央図書館 東部図書館エル 中央図書館増戸分室 五日市図書館	<p>あきる野市再編等に関する実施計画(案)に対する意見</p> <p>I《中央公民館・秋川きららホール・あきる野ルピア・五日市会館・五日市地域交流センター》は、法的位置づけと利用の現状を踏まえて再編を計画してください</p> <p>1. 「公共施設再編計画」で公民館機能の充実を図って下さい 中央公民館については、「施設特性」として「住民の生涯学習活動を支える役割を担う公民館として、社会教育法に位置付けられている点に留意が必要である(「再編計画(案)」p31)としていています。しかし、「複合化」などを考えるとき、専ら「貸館」「貸し部屋」機能に重点をおいて「再編の方向性」を出しているようなところがあります。</p> <p>また公民館施設は、「公民館の設置及び運営に関する基準」(1998年最終改正)によっても、講堂又は会議室等・図書室、児童室又は展示室等・講義室又は実験・実習室等・事務室、宿直室又は倉庫等さらに体育及びレクリエーションに必要な広場を備えるものと構想されています。歴史をたどれば、1949年に「多西村公民館」が設立されたときも、「図書部」「体育部」等があり、500人規模の大会議室、1350冊の資料をもつ図書室が設けられていました。</p> <p>また社会教育を子ども、現役世代から高齢者までの生涯学習として全世代の学習権を保障するものとの捉え直しがなされたことも大切だと考えます。世代間の交流・共学の場合、子どもたちの居場所として、ますます複合的な機能をあわせ持つことが求められています。</p> <p>(1) 中央公民館の「規模縮小・複合化」には反対です。 (2) 五日市地域交流センターは、条例に規定される「社会教育活動の拠点」として充実させるため、あきる野公民館五日市分館(仮称)として設備の改善、週7日利用を可能とするなど運営の改善をすすめてください。 公民館の分館設置は、「アウトリーチ事業」の充実を支えるものとなり、あきる野の魅力を市内外に広めることに資すると思います。</p> <p>駅からのアクセスのよい「あきる野ルピア」のホール・会議室の一部は公民館の分館とすることも検討してください。 (3) 戦後の公民館運動の中で生まれた「公民館利用の原則」に立ち戻って、公民館の会議室利用の無料化を検討してください。「貸し室」機能の一部を公民館からあきる野ルピアなどに移す場合でも、使用料が値上げされるようなことは止めてください。</p> <p>2. 中規模ホールの「集約化」は慎重に検討してください 中規模ホールの「集約化」は、秋川きららホール・五日市地域交流センター(ホール)・五日市会館(ホール)と今回「計画(案)」外のふれあいセンターを含む「方向性」だと考えられます。</p> <p>秋川きららホールの「事業の現状」を「利用者の高齢化と固定化の傾向が見られる」と捉えるのは、寿大学や市民文化祭での利用の成果を十分に捉えていないものです。また都立秋留台高校の合唱コンクールが昭島市民会館ホールを使っていた(現在は?)、東海大学菅生高等学校・中等部合唱部のコンサートがイオンホールで行われたなど、市内団体の活用に対応できていないこともあるのではないのでしょうか。高い質の芸術・文化公演に市内で参加できる機会をもっと増やす努力をして欲しいと思います。</p> <p>4つのホールは、それぞれ客席数や音響・照明、費用など様々な特徴があります。アクセスのしやすさも異なります。市民文化祭などの繁忙期とそれ以外の時期など、市民の文化活動に即し、文化・スポーツ団体等の意見を聞くなど、ていねいに「再編計画」を検討してほしいと思います。</p> <p>II. 《中央図書館・東部図書館エル・中央図書館増戸分室・五日市図書館》は、長期的な利用者のニーズを分析し、時代の求めに応える全市的な再編計画を立ててください。</p> <p>1. 「生涯学習社会」における柱となる図書館は、柔軟で広がりのある再編計画が必要です (1) 今回のパブコメでは、中央図書館など3館と五日市図書館が別の区分けで「再編等 の考え方」が示されています。これは図書館サービスのあり方全体を検討する上で、適切な区分けではありません。また「市議会図書室(?)」も加えて総合的に再編計画を検討してください。</p> <p>(2) 図書館の機能の複合化は、図書館整備計画を待つすすめて下さい。紙の本と紙の資料を中心とする現在の図書館は、10年後、20年後にはさらに多様な機能が求められるに違いありません。学校図書館でも、すでに「読書センター」「学習・情報センター」の機能が求められています。</p> <p>紙の本、デジタル書籍、オンラインの電磁的資料をどのように収集、提供するだけでもたくさんの検討事項があります。</p> <p>「図書館のあり方の検討や、施設・サービス網の拡充」、学校図書館との連携が検討事項です。公文書館・フィルムライブラリー・博物館・考古資料館・美術館と兼ねた、あるいはネットワーク化された情報センターとしての地域図書館の姿は、まだ見えてきません。</p> <p>床面積・管理維持費用の観点からだけ「再編の方向」を決めることは愚かなことです。企画政策課の担当者の教示で「あきる野市図書館整備計画」(2004年)の存在を知りました。行政・専門家・市民の知恵を集めた「新図書館整備計画」を策定し、図書館施設のあり方を検討してください。</p>	<p>Iについて 再編等に当たりましては、関係法令、設置根拠等を尊重しながら、取り組んでいきます。</p> <p>1 (1)について 規模縮小は、公共施設等個別施設計画において、「設置義務性ととの兼ね合いで、利用度が低調(今後の見込みを含む)であり、施設規模の縮小を検討することが妥当」であることを示しています。また、複合化は、「スペースの活用や利用効率の向上が課題であり、機能の複合化を検討することが妥当」であることを示しています。これらを踏まえ、中央公民館は、施設の需要傾向に応じて施設規模を縮小するとともに、施設利用者のニーズの高い他の施設の機能を複合化する方針(規模縮小・複合化)を定めることとしています。</p> <p>1 (2)について 中央公民館の再編等に関する実施計画(案)における一部機能移転は、他の公共施設に公民館機能の一部を移転することを想定しており、対象施設や機能の位置付け(分館とするのかなど)を含め、別途検討することとしています。五日市地域交流センターの位置付け、公民館の分館設置も、これらに合わせて検討していきます。</p> <p>1 (3)について 公民館の会議室利用の無料化や会議室の使用料に関するご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>2について 秋川キララホールは、市内の中規模ホールを集約化する方針を定めることとしています。中規模ホールの機能を大規模ホールの機能で賄う施設を想定しているものではなく、大規模ホールの機能と中規模ホールの機能を両立できる施設(大規模ホールと中規模ホールの2つのホールを備えた施設、舞台や客席の配置等を変更し、大規模ホールと中規模ホールを切り替えることができる施設など)を想定しています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p> <p>IIについて 再編等に関する実施計画(案)の取りまとめに当たりましては、各施設の需要傾向を考慮しております。また、図書館整備計画の見直し等に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>1 (1)について 図書館サービスの在り方の検討に関するご意見は、今後の参考とさせていただきます。また、再編等に関する実施計画の対象施設は、公共施設等個別施設計画に示す予防保全の対象施設であり、ご指摘の市議会の図書室は対象施設としていません。</p> <p>1 (2)について 図書館の再編等に当たりましては、現在の図書館整備計画計画を尊重しながら、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。この度の再編等に関する実施計画案の取りまとめにおいて、再編等の方向性を選定するに当たりましては、評価項目として、「床面積の縮減の度合い」「利便性への影響の度合い」「機能重複の解消の度合い」「コストの低減の度合い」「避難所、投票所などの重要な機能への影響の度合い」を設け、比較しています。</p> <p>1 (3)について 図書館サービスの「圏域」に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>1 (4)について 東部図書館エルの「避難所機能」に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p> <p>IIIについて 再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p> <p>1について 五日市会館は、建築から50年以上が経過し、建替え時期を迎えています。また、五日市図書館、五日市郷土館も、建築から約50年が経過し、いずれかの段階で建替えが必要となります。こうした状況を踏まえ、それぞれの建物の現位置での建替え等の可否や、公共施設の再編等の取組が必要であることを考慮し、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p> <p>2について 再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
		<p>少なくとも現時点で、「規模縮小」の「方向性」を決めることは避けてください。図書館施設の「規模縮小」は、図書館サービスの縮小を意味するものではないことも確認しておきます。</p> <p>また維持管理費削減だけを考えて、「指定管理制度」など(民間委託)を広げないでください。</p> <p>(3) 図書館サービスの「圏域」は小学校区としてください</p> <p>図書館のサービスは、幼児と子育て世代、学童・中学生、高齢者にとって、アクセスのしやすさが第1条件です。しかし将来・現在の3館体制が基本とするのが妥当だと思います。3館を中心とし、児童館や地区会館を衛星とする「サテライト化」などの方法、「出前サービス」なども検討の余地があると思います。学校への出前サービスも広がってよいと思います。施設の改築などの際には、それに対応するプランを立ててください。補助金、交付金などを有効に用いたリニューアルなども考えてください。</p> <p>(4) 東部図書館エルから「避難所機能」を外してください。</p> <p>自然災害などの際の避難所は、住民の命と安全を守る自治体の最も重要な責務です。東部図書館エルの建設時の諸事情・条件があって、「避難所機能」をになってきました。地域の状況も変化しており、機能を他施設に移すことも可能になっていると思います。</p> <p>Ⅲ. 五日市地域の諸施設の「一拠点化」は地域の歴史と住民の意向を尊重して再編計画を検討してください。</p> <p>1. 「資料4」五日市図書館等5施設の「一拠点への集約化・複合化・多機能化」の「再編計画(案)」には、反対です。</p> <p>五日市図書館の「大規模改修」の期限は2026年とされています(個別施設計画)。しかし改修の計画が決まったという情報に接してはいません。ということは、今次「再編計画(案)」にある「五日市図書館の建物は、廃止する予定」が、既成事実とされているように思えます。五日市地域の住民ならずとも、不審・不快の念を抱きます。</p> <p>「資料4」(p32)には「※施設は、現在の建物の活用、新たな建物の整備を想定しています。」とあります。しかし「新たな建物」がどの機能に対応するものなのかは示されていません。同時に「現在の建物の活用」がどの機能のための活用なのか、どのような改修をするのか、しないのか、明示されていません。新建物の建設と「現在の建物の活用」のための費用がどのように想定されているかも不明です。</p> <p>そのような「再編計画(案)」の可否を判断することはできません。まずは、「資料4」にまとめられた7施設の「再編計画(案)」は取り下げてください。</p> <p>2. 五日市地域諸施設の「一拠点化」構想は、「基本構想」としてまとめるべきものです。</p> <p>五日市地域の「公共サービス」のあり方は、合併前からの長い経過をもつものです。個別施設の改廃、移転、複合化などで考えられるものではありません。五日市地区の住民の理解無しにはすすめられないことは自明のことです。さらに、「公共施設再編計画」と深く関わる五日市駅前施設が、「総合管理計画」等との整合性に問われる中で建設された直後でもありません。</p> <p>「一拠点化」構想は、理念・策定原則・「公共サービス」と費用・ロードマップを含む「基本構想」「全体計画」に基づいて実施すべきものです。その際、地域住民の思いや意見・意向をしっかり聞き取り、策定の段階からの参画をどう実現するかが鍵となることはいうまでもありません。</p> <p>「一拠点化」を今次「再編計画(案)」によってすすめることには、強く反対します。</p>	

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
26	全体	<p>1 0 月 1 日付け広報に記載の再編に係る意見募集に対して、ホームページをざっと閲覧し下記のとおり意見を申し述べます</p> <p>問題点</p> <p>①ホームページから検索しての“補足資料 1 の公共施設の再編等について”の前書きには、「・・・利用需要の変化を踏まえつつ・・・」と述べている。が、資料を一瞥してもその変化状況が見て分らない。</p> <p>②あきる野市の①社会福祉、②人口減少、③歴史・文化遺産等の現状評価から現在抽出されている、将来構想・在るべき姿（例えば、多様性、インクルーシブ、移住、とかいなか）との紐づけ・整合性・シナジー効果がわからない。</p> <p>③ 3 つの各論だけで、マクロ的な俯瞰した視点（考え方）が見えてこない。</p> <p>問題点に対する私見（一例）</p> <p>①利用状況の現状の分析が不足しており、利用者側の視点からみての課題が見えてこない。→現状データーを分析して課題を抽出し将来的に在るべき姿を検討する。</p> <p>②あきる野市の①社会福祉、②人口減少、③歴史・文化遺産等の現状評価と課題抽出を振り返り、将来構想・在るべき姿などを再点検したうえで、整合性をはかる、又は、新たに盛り込みをするなどを検討する。</p> <p>③行政と市民からのニーズも大切だが、あきる野市の発展に寄与する潜在ニーズ（都民とか外国人との共生）の掘り起こしに、【昼間のニーズ】も注力すべきであるとおもいます。実効性がきっと上がるはず。</p> <p>追伸 意見募集期間が短すぎ、アナウンスが足りないと感じます。</p>	<p>①について</p> <p>この度、再編等に関する実施計画を策定する 3 4 施設の利用需要の変化につきましては、各施設の再編等に関する実施計画（案）の「⑥再編モデル実施検討のための施設特性整理」などに示しています。</p> <p>②③について</p> <p>この度の公共施設の再編等の取組は、公共施設の適正配置を実現するためのものです。また、公共施設の適正配置は、公共施設等の総合管理の取組の一つであり、市では、これらの取組の目指すべきゴールとして、「将来にわたる適切な公共サービスの提供」としています。公共施設等の総合管理は、人口減少、少子高齢化、財政状況などの様々な要素を総合的に勘案し、取り組んでいきます。</p> <p>追伸について</p> <p>この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、1 4 日間としました。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。</p>
27	東部図書館 五日市図書館 中央公民館	<p>公共施設の老朽化は、全国的に進み、限りある財源の中で維持管理・更新費用の確保は、どこの自治体でも重大な課題となっていることは十分理解できます。これは道路、橋、トンネルなどのインフラで、よく言われてきました。</p> <p>長寿命化とともに施設の集約化も必要となるでしょう。再編を検討するうえで、「需要傾向」が一つのポイントに挙げられています。</p> <p>長いスパンで見ると人口減少があげられますが、公民館管轄の活動をしていますと、高齢者の場合 年金の支給開始が 6 5 歳からとなったこと、また最近の物価高等で生活が厳しくなっていることから、仕事しなくてはならなくなっていること、したがって活動を始める年齢が高くなっていることなどが、「需要傾向」を大きく左右しているのではないかと実感しています。</p> <p>しかしこのような「需要傾向」の中で、減少しているからと言ってそのまま施設を統廃合したり、規模縮小したりしてよいのでしょうか。</p> <p>まず高齢者の場合、仕事オンリーの生活から、市民活動参加に切り替えていくことは、それなりの準備も時間も必要でしょう。すでに自分は、この分野の活動をしたいと決めている人もいるでしょうが、決めていない人には、いろいろのメニューを提示するなど細かな取り組みが求められます。</p> <p>いま高齢者の問題を取り上げましたが、子供から勤労者に対し、気軽に参加できる取り組みが必要です。利用の少ない層に対して、どのようなメニュー用意し、どう働きかけるかです。</p> <p>「再編計画」は、確かに施設-建物の再編ですが、そこには利用する市民がいます。まず施設の利用をどう高めるかの視点を忘れないでいただきたい。</p> <p>私は、いろいろの公共施設の中で、特に「図書館」と「中央公民館」について意見を述べさせていただきたい。</p> <p>「図書館」</p> <ul style="list-style-type: none">・東部図書館について、貸館業務について検討となっている。確かに近くに野辺地区会館もある。部屋貸という点では、同じですが、部屋の大きさなどそれぞれで使い分けをしている。 <p>貸出業務については、図書館業務とは別の方法を考えて、部屋を倉庫にしないください。</p> <ul style="list-style-type: none">・五日市図書館の移転・規模縮小が課題となっていますが、五日市町時代から蔵書の内容にも見られるように素晴らしい活動をされています。その伝統を引き継いでいただきたい。・市議会総務委員会では、「民間活用」も検討課題と説明があったようですが、以前報道で葛屋に図書館を業務委託させたところ、冊数はそろっても、中には古本もあったそうです。古本が悪いとは言いません。古本しかない場合もあります。どういう本をそろえていくかです。安易に「民間活用」と言わないください。 <p>「中央公民館」</p> <ul style="list-style-type: none">・貸出業務という点では、たしかにルピア・地区会館・交流センターとありますが、住民の生涯学習活動を支える役割は重要で、寿大学、市民解説員などの活動を推進させる業務とともに、それらにかかわる市民も含め、市民が気軽に部屋を借りられ、市民が企画・運営する行事などで人が集まることも大切だと思います。他施設との機能集約化ということで、部屋を倉庫にしないください。 <p>「最後に」</p> <p>あきる野市再編等に関する実施計画（案）に対する意見を募集に対し、まず募集期間が短すぎます。また内容の理解には、一定の説明が必要とされます。</p> <p>改善してください。</p>	<p>この度の公共施設の再編等の取組は、公共施設の適正配置を実現するためのものです。また、公共施設の適正配置は、公共施設等の総合管理の取組の一つであり、市では、これらの取組の目指すべきゴールとして、「将来にわたる適切な公共サービスの提供」としています。公共施設等の総合管理は、人口減少、少子高齢化、財政状況などの様々な要素を総合的に勘案し、取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・図書館について <p>貸し館機能や五日市図書館、民間活用に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。なお、部屋を倉庫にするという考え方は示していません。</p> <ul style="list-style-type: none">・中央公民館について <p>貸し館機能に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。なお、部屋を倉庫にするという考え方は示していません。</p> <ul style="list-style-type: none">・最後にについて <p>この度の再編等に関する実施計画（案）は、各施設の再編等の方向性（考え方）を示すものであり、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。また、この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、1 4 日間としました。</p>

No.	意見の対象となる施設等	意見	市の考え方
28	秋川キララホール	<p>私は『あきる野市再編等に関する実施計画(案)』の『中規模ホールの「集約化」』に反対します。</p> <p>計画案によりますと中規模ホールは秋川キララホールに「集約化」するという方向が出されています。</p> <p>関連して、五日市会館(ホール等)は「規模縮小・複合化」の方向が出されています。</p> <p>今回の計画(案)には入っていませんが、秋川ふれあいセンターのホールも縮小・集約されるようになることを心配しています。</p> <p>「中規模ホール」といっても、客席数や音響・照明、費用などさまざまな特徴があります。また、来場者の行きやすさにも違いがあります。</p> <p>その点から考え、今現在あきる野市内にある中規模ホールを秋川キララホールに集約化することはこれまで市内で行われてきた文化活動と、そこに集う人たちが文化に親しむ機会を奪うことにつながると考えます。</p> <p>私は『市民劇団あきる野』という団体に所属し、毎年10月の文化ウィークでは秋川ふれあいセンターのホールで公演を行っています。</p> <p>今年も10月4日に公演を開催し、 2回の公演で合わせて200人近くの方にご来場いただきました。</p> <p>また、『市民劇団あきる野』ではここ数年、中学生の入団も増え、今年は4人の市内在住の中学生も大人に混ざって公演に出演し、芸術・文化に親しむとともに、大勢の方の前で発表するという貴重な体験を通して成長しています。</p> <p>私たちの劇団にとって秋川ふれあいセンターのホールの、客席と舞台との距離の近さ、客席数、規模感、舞台裏の移動のしやすさが無くてはこれまでのような劇の発表はとても困難になってしまいます。</p> <p>そのため、今後もし秋川キララホールに集約化され、秋川ふれあいセンターのホールが使用できなくなってしまうたら、あきる野から文化の灯火が消えることにつながるかもしれないと危惧しています。</p> <p>以上のことにより、あきる野市再編等を検討する際に中規模ホールの「集約化」を安易に計画しないようお願いいたします。</p>	<p>秋川キララホールは、市内の中規模ホールを集約化する方針を定めることとしていますが、中規模ホールの機能を大規模ホールの機能で賄う施設を想定しているものではなく、大規模ホールの機能と中規模ホールの機能を両立できる施設（大規模ホールと中規模ホールの2つのホールを備えた施設、舞台や客席の配置等を変更し、大規模ホールと中規模ホールを切り替えることができる施設など）を想定しています。</p> <p>再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討していくこととしています。</p>
29	全体	<p>・市民の意見を募る前に、先ず関係地域での説明会を設けるべきです。</p> <p>・膨大な資料を閲覧し、それに対する意見をまとめるにはあまりに期間が短すぎます。</p> <p>・この様なやり方は、もう総て実施するのが決定しており、一応市民の意見は聞いたという免罪符にする為の意見募集かと疑われても仕方が無いのではないかと思います。</p> <p>以上</p>	<p>この度の再編等に関する実施計画（案）は、各施設の再編等の方向性（考え方）を示すものであり、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。また、この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、 1 4 日間としました。</p>
30	全体	<p>市民、特に五日市地区に居住する私達にとって、あまりにも突然の実施計画です。これまでも秋川市との合併により、多くの施設が移行されてしまい、町はさびれる一方です。</p> <p>移住者受け入れに力を入れています、図書館もない。五日市憲法発祥の地でありながら、その資料のある郷土資料館もなくしてしまったら、全く住む人にとって魅力はなくなってしまいます。移住希望者もなくなります。</p> <p>この計画を知る市民はまだ多くはないと思います。市の広報の片隅ではなく、一枚の用紙にどの施設がどのように計画されているかを、わかり易くお知らせし、それに対する意見は少なくとも一か月以内募集にしてほしいです。</p> <p>まだまだ書きたいことは沢山ありますが、あまり急がずじっくり考えてください。なくしてしまったものはもう元へはもとせません。</p>	<p>五日市会館は、建築から5 0 年以上が経過し、建替え時期を迎えています。また、五日市図書館、五日市郷土館も、建築から約5 0 年が経過し、いずれかの段階で建替えが必要となります。こうした状況を踏まえ、それぞれの建物の現位置での建替え等の可否や、公共施設の再編等の取組が必要であることを考慮し、現五日市地域交流センター等の敷地に移転・規模縮小・複合化・多機能化する方針を定めることとしています。五日市図書館や五日市郷土館の機能を廃止するものではありません。</p> <p>この度の再編等に関する実施計画（案）は、各施設の再編等の方向性（考え方）を示すものであり、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。また、この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、 1 4 日間としました。</p>
31	中央図書館 東部図書館エル 中央図書館増戸分室 五日市図書館	<p>あきる野市の公共施設がたくさんあり、老朽化が進んでおり、修繕や改修等を進めなければならない事はわかります。</p> <p>いろいろある中で図書館について要望をいいたいと思います。</p> <p>今あきる野市には図書館が4つありますが、どこもその地区の大切な文化施設です。</p> <p>小学校のそばにもあり、子ども達が利用しやすい施設になっています。修繕はしてもらいたいです、どうか同じ規模でその場所で存続してほしいと思います。</p> <p>それから意見の募集期間もう少し長くしてもらえたらと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	<p>この度の再編等に関する実施計画（案）においては、図書館は4 館体制を維持することとしています。</p> <p>また、同計画（案）は、各施設の再編等の方向性（考え方）を示すものであり、再編等の方向性に沿った具体的な方策は、説明会の開催などにより市の考え方を説明し、関係団体等のご意見を伺いながら、今後検討することとしています。また、この度のパブリックコメントの期間につきましては、公共施設の再編等の方向性を示す「再編等に関する実施計画」の策定に当たり、「あきる野市におけるパブリックコメントに関する指針」に基づき、 1 4 日間としました。</p>